



報道資料

2007年11月19日

財団法人 電気通信端末機器審査協会

IPv6 Ready Logo 認証業務の継承について

財団法人 電気通信端末機器審査協会（JATE：須田和博理事長、東京都港区）は、IPv6 Forum が実施する IPv6 Ready Logo Program に関し、これまで IPv6 普及・高度化推進協議会サーティフィケーション WG（主査：江崎浩東京大学大学院教授）及び TAHI プロジェクト（代表：宮田宏（横河電機））が行っていた認証業務を引き継ぐための必要な検討を開始することといたしました。

JATE は、IPv6 Ready Logo の認証業務の引き継ぎについて、IPv6 Forum との合意に基づき、11月19日にオーストラリア・キャンベラにて開催された Asia Pacific IPv6 Task Force の会議において、IPv6 Forum（President：Latif Ladid）、同 Forum 傘下で IPv6 Ready Logo Program を運営する IPv6 Ready Logo Committee（議長：江崎浩東京大学大学院教授）との間で具体的業務検討を開始する旨の覚書に調印いたしました。

連絡先：財団法人 電気通信端末機器審査協会（JATE）

吉田専務理事、寺田主幹

TEL：03-5786-4300

FAX：03-5786-4311

e-mail：info@jate.or.jp

URL：<http://www.jate.or.jp/>



【参考】

IPv6

新しいインターネットアドレスを含むプロトコルで、現在主流の IPv4 アドレスは 2010 年頃には枯渇すると言われていることから、我が国では総務省が中心になって、普及推進を図っています。

IPv6 普及・高度化推進協議会

慶應義塾大学村井純教授を会長に、郵政省（当時、現総務省）をオブザーバに迎え、IPv6 による次世代インターネットの普及推進を目的として、2000 年 10 月に設立されました。TAHI プロジェクトと連携してサーティフィケーション WG を運営し、IPv6 Ready Logo Program の核となるテスト仕様、テストツール等を開発しています。

TAHI プロジェクト

1998 年に活動を開始し、IPv6 の実装機器を品質面でサポートするための検査ツールを開発して無償公開しているほか、相互接続テストイベントを毎年開催しています。IPv6 普及・高度化推進協議会サーティフィケーション WG と連携して、IPv6 Ready Logo Program の核となるテスト仕様、テストツール等を開発するとともに、主にアジア地域を担当する審査機関になっています。

IPv6 Ready Logo Program

「IPv6 対応機器がお互いに IPv6 で通信ができる」ことの国際的な機能認証スキームです。IPv6 の普及を目指す国際 NPO「IPv6 Forum」（ルクセンブルグ; President: Latif Ladid）配下の IPv6 Ready Logo Committee（議長：江崎浩東京大学大学院教授）により運営され、同 Committee を構成する、日本、米国、欧州、中国、韓国、台湾等の各協力組織により活動が推進されています。

なお、IPv6 対応機器としては、ルータをはじめとした通信機器や、パソコン・IP 電話機等の通信端末等があります。

財団法人 電気通信端末機器審査協会（JATE）

電気通信回線に接続する端末機器の技術基準への適合認定業務を公正・迅速に行う第三者機関として、昭和 59 年に郵政大臣（当時、現総務省）により設立されました。現在は、電気通信事業法に基づく登録認定機関として各種の端末機器の適合認定業務を実施しています。

以 上